



知的探検うつくしま

今回のテーマ

地産地消



地産地消ってなに？

「地産地消」とは、「地元生産－地元消費」を略した言葉で、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味で特に農林水産業の分野で使われています。
 「地産地消」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の互いの理解を深める取り組みとして期待されています。

地産地消には、こんないいことがあります。

- **季節ごとにとれたてを味わえる**
 - ・産地が近いので新鮮です。
 - ・季節に応じた「旬」のものが味わえます。
- **生産者と消費者のコミュニケーションが生まれる**
 - ・生産者が分かり、生産されたものを身近に感じることができます。
 - ・消費者の意見を直接聞くことができ、ものをつくる上で参考になります。
- **省エネルギーにつながる**
 - ・近くに運ぶので、燃料が少なくて済みます。
 - ・包装もかたんにすみ、省資源につながります。
- **地域が元気になる**
 - ・地域の農産物を買うと、地域の農家の収入が増えます。
 - ・地域の農家が地域で買い物をするので、地域の商店の収入も増えます。



私たちのまわりにある地産地消

学校給食

学校給食で、地元でとれた米や野菜を積極的に活用します。



農産物直売所

農産物直売所では、生産者が直接お店に農産物を持ちこんで販売します。



公共施設

地域でとれる木材は、学校などの公共施設や学校の机、いすなどに使われています。



水産物

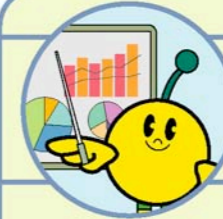
福島県近海の豊かな水産物を守るために、魚や貝の数を増やす取り組みをしています。



Q 地産地消月間とはいつですか？ おもしろいイベントがありますか？

A 毎年10月～11月は「地産地消月間」です。地産地消に、みんなでより一層積極的に取り組む機会として「地産地消月間」を設けました。「地産地消月間」には県内各地で福島県にある「いいもの」（おいしい食べ物や文化など）と触れあえるいろいろなイベントがあります。こうしたイベントに積極的に参加し、家族や友達と一緒に「地産地消」の大切さについて考えてみましょう。

わたしたちキビタンファミリーが地産地消推進のキャラクターをつとめています。よろしくね。



データでみるうつくしま 農業〔野菜〕編

福島県は、全国第3位の広大な面積を誇り、地形や気候など地域の自然条件が大きく異なります。その地域の特性を生かして、県内では、お米をはじめ、野菜、くだもの、切花などいろいろな作物が生産されています。
 平成16年の野菜の生産額（531億円）は全国第15位、東北第2位となっています。特に、夏から秋にかけて生産されるきゅうりは全国第1位、さやいんげんは全国第2位、夏から秋にかけて生産されるトマトは全国第3位となっており、全国各地に出荷されています。また、最近では「地産地消」にも積極的に取り組んでいます。



主要野菜の収穫量順位

品目	全国における福島県の順位	県内市町村の順位(平成16年)		
		1位	2位	3位
夏秋きゅうり	1位	須賀川市	伊達市	二本松市
さやいんげん	2位	田村市	須賀川市	郡山市
夏秋トマト	3位	白河市	郡山市	矢吹町
夏秋ピーマン	4位	田村市	三春町	二本松市
さやえんどう	4位	伊達市	須賀川市	二本松市
ばれいしょ(春植)	6位	郡山市	南相馬市	いわき市
ブロッコリー	6位	南相馬市	中島村	白河市
夏だいこん	9位	郡山市	飯舘村	北塩原村

〔出典：第52次福島農林水産統計年報、2006図説福島県の農林水産業〕
 (H18.2.1現在の市町村での集計)

